

社説

外交に黨争と入る可らず

内政の争は兄弟喧嘩にして勝つも負くるも左まで意とするに足らざれども外交問題に至れば則ち然らず國と國と相對して自國の權利を益を完うせんとするものなれば當局者の失敗は即ち國の損毛なり苟も心ある者は徒に紛争を事とせず共に協力して其成功を祈る可き筈なるに然るに昨今世上一派の論議を見れば無理に當局者を非難して是非とも失敗せしめんと欲するものも如し苦々しき次第にして我輩の竊に歎息する所なり外交問題を始末するは外務當局者の任なれ共陰に陽に之を援けて其運動を自由ならしむるは國民の義務なり當局者の政策が眞實の利益に反するを認めれば靜に利害のある所を論じて其注意を促すは固より不可なしと雖も只取て代るの一念に制せられ故らに無理難題を提出して他を苦めんとするは國を愛するの心なきものと云ふ可し一言を發し一筆を下す毎に斯の如く論ずれば外國人は如何に感ず可きか又我政略を妨害するものと云ふ可きやと深く自から省るるも有志者の本意なれば今昔と異なりて論者の責任も一層重きを致したる次第を云はんは是迄政府は嚴重なる規則を設けて言論を束縛し動もすれば新聞紙の發行を停止し又演説を中止するのみか外交の事は成る可く秘密にして世上に知らしめざるの流儀なりしに今は則ち然らず大に言論を自由にするると共に外交上の事も勉めて公にして喜憂を分たんとするに至れり例へば米國に向て云々の抗議を申込みたりとか布哇は箇々々に返答したりなど云ふの類は從來の政府ならんには秘密として容易に知らしめざる可きに今の當局者が頻々之を世人に告げて釋らざるは蓋し國民も大に發達して大抵の事は打明けて話すも爲めに不都合を生ずるもなかる可きを信ずればなり政府既に國民を信じて其言論を自由にし又秘密をも語るに於ては國民も亦其覺悟を以て事に處せざる可らず小供は一々父母の指圖に隨て進退するが故に責任なしと雖も既に一人前の男女と爲りて萬端の家政に參與するに至れば一家の盛衰に付て父母と心配を共にするが如く國民の責任も亦其信用と共に増すものと知る可し然かのみならず輿論政治の國に於ては人民の聲は外國に對しても自から力ありて外交上に大なる影響を與ふるの常なり當局者が如何に相手の威儀を和げんとするも人民にして憤むるとを知らず粗暴無禮の言論を恣にするに於ては到底双方の間に友誼を全うするも能はず當局者も國民も向ふ所を一にして始めて目的を達す可きのみ外交には一切黨派根性を止めにして銘々此國を背負て立つの覺悟あらんものと我輩の願をも希望する所なり

兩陛下還幸期

宮内省へは未だ何等の御沙汰あらざるも廣備侍從及び股野内侍等御座候へば遊ばされたる御模様より推し測り奉れば過くも来月十日頃までは還幸在らせらるべき御事ならんと宮内省の某高官は語れり

皇太子殿下の葉山行啓

皇太子殿下には愈々本日午後四時十五分青山花の御殿御出陣同四時五十分新橋發汽車にて葉山の御用邸へ行啓當分の内同所に御滞留あらせらるべき旨一昨日御出されたり

有栖川宮殿下の紐育御出發

遣英大使有栖川宮殿下には去る十七日英國リヂアープール御出發紐育に向はせられたるが陛下御一行に關し去る廿五日紐育發にて内田領事より左の如く外務省に著書せり

威仁親王殿下御一行今二十五日正午當府御出發晚香城に向はせらる

猶御一行は豫期の如く来る二日晚香城御出發同十三日横濱着の御豫定なりと承はる

逓信省の大改革

逓信省は官制を改正して大改革を行ふ由は先頃の紙上に記したるが目下奏請中なる新官制の要領を聞くに從來の通信局、鐵道局を分割して更に郵務、電務、鐵道作業、鐵道の四局を置き又是迄の財務、調度の二課を合して監査局と改め各局長を勅任官とするよし又二等郵便電信局長を委任官とする事に改めたり是れ大藏省の監査補と權衡を保たしめんとすなりと新官制を實施する爲めに來年度よりは三十六萬餘圓の本省費を要する豫定なれども本年度だけは既定の二十六萬三千餘圓にて間に合する積りなりといふ新官制は來月の十日前後に發表し同時に局長以下の任命もあはるよし

勅任參事官の確定

豫て噂ありし勅任參事官の候補者は過日の内閣會議にて大藏省には進歩黨隨一の財政家、農商務省には大藏省の參事官某氏、外務省及び拓殖務省には先般來風説の某々氏を入るとに決定し内務省にも在野の政客を任用する事になるやも知れず又同時に二三局長の更迭あるべしといふ

列國殖民會議と日本

來る八月白耳英國ブラッセル府に於て列國殖民會議を開くに付き日本よりも參列員を差出されたり旨同國より我政府に照會し來りたるを以て目下其筋にては派遣す可きや否やに就き詮議中なりと云ふ

萬國地質會議參列員の露都着

露都聖彼得堡に開かる可き萬國地質會議に參列する爲め先頃本邦を出發せし理學博士巨智部忠承氏の一行は去る二十六日露都に到着したる旨其筋に電報ありたるよし

和蘭新内閣組織

和蘭新内閣組織に付同國駐劄亦羽辨理公使より去る二十日發にて左の電報其筋に達せりといふ

今般和蘭新内閣は大藏大臣に就任したるエンゲル氏内務大臣に、セル・レリイ氏は工部大臣に、パロン・ゴルトステーン氏は外務大臣に、コロネル・イツセルト氏は陸軍大臣に、ヨット・イー・クレイメ氏は海軍大臣に、アドモラル・マックレオード氏は司法大臣に、ハール・ドレーツケル氏は司法大臣に就命せられたり

西班牙現内閣の危機

ノヴァス氏は九月の頃キューバへ向け援兵二萬を派遣するの必要あらんと豫言せる由にて多分キューバの征討軍司令官より請に應じたるものならんと云ふ政府はキューバの反勢衰へ鎮定の期遠きに非ずと絶えず公言しながら今斯く援兵の必要あるは甚だ不可思議なる次第なり是れに依て見れば前日の平定説は全く虚構にして政府は人心を欺き一時の安逸を貪らんとするものなりと非難の聲甚だ高く現内閣の位置ますます危しとなり

民政局長の非免

臺灣總督府民政局長の非免は愈々昨日高野氏の免兼官と共に發表したり

免兼官

臺灣總督府民政局長 伊澤 儀二  
臺灣總督府法務局長 山口 宗義  
臺灣總督府府民局長 高野 孟矩

文部高等官會議

文部省にては昨日午前十一時より都築次官木下安廣の兩局長其他の高等官官房に參集會議を開きたりしと云ふ

樺山内務の巡視に就て

樺山内務大臣は目下水害地方の巡視中なるを以て特に水害觀察の爲に出張したるもの如く云ふものあれども今回の巡視は單に水害を目的としたるに非ず元來内務大臣として地方の狀況を知悉するの必要あるは勿論殊に北陸及び奥羽地方は從來餘り當局者の足跡の通からざる處なるを以て今春議會閉會の後に於て各地を巡視せんとすとの談、大臣と次官の間に纏まり疾に出張すべき筈なりしが遂に今日まで遷延したる次第にて尙ほ樺山大臣は歸京後再び巡視の途に就く筈なりと云ふ

黒川東宮大夫所勢

に就き皇太子殿下の御供本は岩倉幕僚局長に仰付けられたり

華族の禮遇停止

華族松平信正氏は昨日華族令十五條第三項に依り華族の禮遇を停止せられたりと云ふ

内外野山速射砲試驗

其筋にては去月末以來千葉に於て本邦製野砲及び英佛獨三國製造の野砲山砲に就き發射試驗をなし居たるが右は去る二十七日を以て終了したるよし其結果は猶ほ秘密に屬せるが本邦製の野砲は東京砲兵工廠提理有坂砲兵大佐砲兵會議審査官秋元砲兵中佐、大阪砲兵工廠検査官栗山砲兵少佐の審査に成れる新式の砲都合三種にて兎に角成績頗る宜しく殊に其裝藥の如きは本邦にては始めての製造なるにも拘はらず頗る完全にして之を實見したる外國人も一驚を喫し居れりといふ猶ほ試驗成績の報告は頗る大部に渉るもの由にて試験に供せる砲は孰れも七種位のものなるが其試驗も距離威力并に器械の具合等により種々優劣もあるべければ一概に良否を判断し難きも兎に角多數の試驗官が最も重きを置く點より觀察して優等と認めたるものを採用するに至るべしといふ

砲兵會議場の新築

砲兵會議場は是迄小石川砲兵工廠内後樂園附屬建物に開會し來りしが右は維新前の建築に係り腐朽甚きに付今更に一萬五千九百餘圓の經費にて新築の筈なりと

屯田兵新移住地

北海道屯田兵は是れまで毎年五百戸づつを募集し一月に付公有財産を合せ三萬坪の地積を給與する規二年以降八年間に於ては上川中川兩郡内に於て次移住せしむる計畫にして殊に官設鐵道邊に之を見込ありといふ

村上海軍大尉

後海軍大臣秘書官と海軍大尉村上格一氏國に向け出發の筈なり

三重縣會の旨

縣會にては去る二日以て假議長を互選せしめ議長たる山路丈太の事として養外等の選の結果も報告書を報告する杯其旨動のたるよし府縣會始ま

信越線の旅客

度直江津驛と日本鐵道客の手荷物積載するに於ては去る二十七日より實行とし荷物積載車長をなすため互に適荷物の授受をなすに於て荷物の積換をなすに於て便利を與ふるものと好都合なりと猶ほ右に止まれるが追々はれども當時機關車の廣嶋經濟會

會は去る二十四日其於て開會し出席會員達を圍らんが爲め製會社を創設するものと堂友子は鹿兒島市長高齡なれども至て達後五時死去したる由

獨逸の新海軍

が同國議會に對し要マルク餘を否決されが此度新海軍大臣チマルク案の計畫を閣議建議にして六るが本案は當秋の議國新聞に見えたり

高嶋炭坑夫

りたりしが此程又騒に日本人労働者排斥今又トルス海峽